

1. 単元名 ネット型ゲーム「プレルボール」

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

- ・プレルボールは、自陣の床にこぶし又は手のひらを用いてボールを打ちつけ、見方にパスをしたり、自陣のコートにボールを打ちつけて低いネットを越し、相手のコートにボールを返したりする運動である。
- ・チームの仲間と協力して、アタックしたり相手のミスを誘ったりして、得点を競い合うことが楽しい運動である。

(2) 児童から見た特性

運動の楽しみ方	学び方	技能
<p>○ラリーが続くように、チームで協力して基本的な技能を身に付けて、プレルボールを楽しむ。</p> <p>○安全に気を付けて、規則を守ってプレルボールを楽しむ。</p> <p>●規則が理解できず、どのように動いてよいかわからない。</p>	<p>○自分で立てためあてに向かって練習したり、チームで簡単な作戦を立てたりして、学習する。</p> <p>○仲間と協力してプレーする。</p> <p>●自分でめあてを立てた経験が少なく、自分に合っためあてが立てられない。</p>	<p>○ボールの方向に体を向けたり、ボールを操作できる位置に体を移動させたりする。</p> <p>○ボールをバウンドさせて味方にパスしたり、打ちつけて相手コートにアタックしたりする。</p> <p>●プレルの技能が低く、ラリーが続かない。</p>

3. 児童の実態

(1) 体力テスト・事前アンケートより

男子 11 名(うち特別支援学級在籍児童 1 名)、女子 10 名、計 21 名の学級である。

本学級は、明るく素直で、何事にも前向きに取り組むことができる児童が多い。休み時間には、サッカーを楽しむ男子や、一輪車や竹馬など様々な遊びをする女子がいる。また、男女の枠を越え、みんなで鬼ごっこなどを楽しむ様子も見られ、学級全体が親和的であると言える。

	男子	女子	合計
A	3	4	7
B	5	2	7
C	2	3	5
D	0	1	1
E	1	0	1

新体力テストの総合評価 (2018)

体力テストの結果から、男子では 50m 走とソフトボール投げ、女子では 50m 走で、県平均をわずかに下回ったが、男女ともにほとんどの種目で県平均を上回った。このことから、発達段階に合わせてある程度バランスよく運動能力が高まっている、と言える。しかし、男女の差が大きく、50m 走や立ち幅跳び、ソフトボール投げでは、男女の平均値に顕著な差が見られた。これには、休み時間や放課後の運動経験が大きな影響を与えていると考えられる。

事前アンケートの結果から、運動することがあまり好きではないと回答した児童が 2 名ほどいたものの、体育の学習に対する関心は非常に高い。多くの児童は、仲間と

協力しながら、様々な動きを身につけたり、できなかったことができるようになったと感じたりする時、体育の学習に充実感を感じるようだ。ボール運動への関心も高く、休み時間や放課後などの遊びを見ても、ボールに触れる機会は多いようだ。しかし、ボール運動というとサッカーやバレーボールなどをイメージした児童が多く、プレルボールという競技についてはほぼ全員が知らないという状況であった。学習カードに自分の言葉でその時間のめあてを立てることができる児童はほとんどおらず、授業の中で作るペアやグループを見ても特定の友達としか組んでいない児童が少なくない。このことから、学び方の習得状況に関しては、まだまだ不十分であると言える。

(2) 技能面の調査より

- ① 30秒間に何回連続でボールをバウンドさせられるか。(ライトドッジボール使用)
- ② 30秒間に何回連続でボールを上げることができるか。(ソフトバレーボール使用)
- ③ 3～4人のチームで1分間に何回プレルが続けられるか。(ライトドッジボール使用)
- ④ 3～4人のチームで1分間に何回ラリーが続けられるか。(ソフトバレーボール使用)

チーム	出席番号	男女	調査① (プレル)	調査② (バレー)	調査③ (プレル)	調査④ (バレー)	備考
1	13	女	17	2	4	3	
	16	男	81	13			
	18	女	89	9			
2	4	男	62	5	19	7	
	9	女	64	5			
	20	男	59	5			
3	10	女	66	6	16	7	
	12	男	91	69			
	15	男	65	22			
	19	女	17	8			
4	5	女	60	3	5	3	
	6	男	23	6			
	7	男	63	12			
	17	女	38	5			
5	8	女	76	7	8	2	
	11	男	50	13			
	14	女	55	20			
	21	男	3	2			特支
6	1	女	78	15	3	3	
	2	男	25	3			
	3	男	12	2			
平均			52.1	11.0	9.2	4.2	

※上記チームについては、ラインサッカーの学習で使用した3～4人で構成したもの。

4. 授業の構想と指導意図

(1) 基本的な考え方

中学年のゲームは、「ゴール型ゲーム」、「ネット型ゲーム」及び「ベースボール型ゲーム」で構成され、規則を工夫したり簡単な作戦を立てたり、集団対集団で友達と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びに触れることができる運動である。低学年のゲームの学習を踏まえ、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができるようにし、高学年のボール運動の学習につなげていくことが求められる。

本単元は、中学年ネット型ゲームで「プレルボール」を扱うものとした。小学校学習指導要領解説体育編（平成20年8月）には、ネット型ゲームの2つの例が示されている。2つのうち「プレルボール」を選んだ理由は、以下の通りである。一つ目に、「プレルボール」は児童全員が初めて経験する運動であること。二つ目に、バウンドさせることで児童がボールを操作できる位置に移動しやすくなること。三つ目に、ラリーが続くことで攻防の面白さを感じることができるということ。全員が同じスタートラインから学習を始め、技能が高まってラリーが続くようになることで、ネット型ゲーム本来の楽しさに触れることができると考えた。

また、平成29年告示の新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うことの重要性が謳われている。そこで本単元では、次の3つに取り組むものとした。

- ・一人一人が自分の課題や目標を見つけ、自分に合っためあてを設定する。
- ・個人やグループでめあてを達成するために必要な練習を選んだり考えたりする。
- ・プレルボールのルールや特性について理解するための時間や資料を用意する。

(2) 単元の展開の工夫

①場や用具の工夫

コートは、体育館のバドミントンコート（13.4m×6.1m）を基に、縦がやや短いコート（11.4m×6m）を作成した。同時に3試合行えるように、3面用意した。ネットについては、高跳びの支柱、洗濯ばさみ、ゴム、スズランテープなどを用いて、児童の安全に配慮した簡単なものを作成した。

ネットの高さは、80cmと50cmの2段階に設定した。ねらい①では、1試合目に80cm、2試合目に50cmというように、1単位時間の中でそれぞれの高さの場に触れることで、どちらの高さがチームに合っているかに気付かせたい。またネットが高い場合と低い場合でどのような戦い方が有効になるかを考えられるようにしたい。ボールは、軽くて柔らかい「モルテン・ライトドッジボール」の2号と0号を使用した。ねらい①のリーグ戦で、2種類の大きさのボールを交互に使用し、それぞれの特徴や違いを感じられるようにした。

②学習の道すじの工夫

実態調査を受けて、本単元では初めのルールをシンプルなものとし、「プレルボール」をできるだけ児童が親しみやすいものとした。

ねらい①では、とにかくプレルボールのゲームに慣れることや、ルールを理解す

ることが重要となる。そのため、多くのチームと対戦することが必要であると考え、総当たりのリーグ戦を行った。ボールについては、2時間目と4時間目に2号、3時間目に0号をそれぞれ使用した。また、1試合目と2試合目でネットの高さを変え、2種類の高さに触れさせた。そうすることで、自分のチームの特性に気づき、ルールや場に合わせた戦い方を考えることができるようになると思った。

ねらい②では、その日の対戦相手を決めて対抗戦を行った。1つのチームと2試合ゲームを行うことで、自分のチームの良さを生かそうとしたり、相手チームの長所を消そうとしたりする姿が見られるようになるだろうと考えた。自分のチームに合った場や用具を選び、簡単な作戦を立ててゲームを行うことができるようになると思った。

③言語活動の工夫

平成29年告示の学習指導要領解説体育編の「内容の取扱いにおける配慮事項」には、言語活動の更なる充実が明記されている。そこで本単元では、以下の2点に取り組んでいくものとした。一つ目は、チームの中での言語活動を充実させるために単元の後半で「作戦タイム」を確保する。二つ目は、チームの枠を超えて互いを認め合うことができるよう「ナイス！発見コーナー」という掲示物を用いる。これらに取り組むことで、全ての児童が安心してプレルボールを楽しむことができる雰囲気と、互いに高め合って学習に取り組む姿が見られるようになると思った。



④スキルアップタイムの工夫

新しい学習指導要領解説より、ネット型ゲームの技能面の目標に、「ラリーの続く易しいゲームをする」とある。そこで、ねらったところにプレルできない児童や、なかなかボールに反応できない児童も、その特性により触れられるよう、以下の技能に慣れ親しむ時間を設定した。

- ① 相手が打ったボールや味方がパスしたボールの行き先に移動すること（レシーブ、トス）
- ② 相手が打ったボールや味方がパスしたボールをプレルでパスすること（レシーブ、トス）
- ③ 持っているボールを投げつけて、相手コートに入れること（アタック）

スキルアップタイムは、単元を通して授業の始めに位置づけた。ねらい①では一斉に行っていくものとし、ねらい②ではチームの習熟具合を見ながらチームごとに必要な練習に取り組むものとした。また、毎時間スキルアップタイムの最後にチーム対抗で「ラリー選手権」を行うこととした。

5. 単元の目標

(1) プレルボールに進んで取り組み、友達と励まし合ってゲームをしようとしている。

【関心・意欲・態度】

(2) チームに合ったルールを選んだり、簡単な作戦を立てたりしている。【思考・判断】

(3) 相手チームとラリーを続けたり、チームの仲間とボールをつないだりして、ゲームを楽しむことができる。【技能】

6. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに進んで取り組もうとしている。 ・規則を守り，友達と励まし合って練習やゲームをしようとしたり，勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ・友達と協力して，用具の準備や片付けをしようとしている。 ・ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型ゲームの行い方を知るとともに，易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ・ゲームの型の特徴に合った攻め方を知るとともに，簡単な作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型ゲームでは，易しいゲームにおいて，ラリーを続けたり，ボールをつないだりするための動きができる。
学習指導に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①プレルボールの学習に進んで取り組もうとしている。 ②友達と励まし合って練習やゲームをしようとしている。 ③友達と協力して，安全に場や用具を準備したり片付けたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①プレルボールの行い方を知り，自分に合ったためあてを立てている。 ②自分のチームに合った規則を選んだり，簡単な作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボールをつないだり相手コートに打ち込んだりすることができる。 ②パスやアタックに対して，ボールの方向に体を向けたり，ボールの行き先に移動したりすることができる。

7. 単元の指導計画

	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	スキルアップタイム (ラリー選手権)						
		ねらい① 簡単なルールでプレルボールを楽しむ (リーグ戦)			ねらい② チームに合ったルールを選んだり簡単な作戦を考えたりしてプレルボールを楽しむ (対抗戦)			
							まとめ	

時	主な学習活動	態度	思 判	技 能	教師の関わり・支援
第一時	<ul style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーションをする。 ○学習の進め方の見通しをもつ。 2 スキルアップタイムを知る。 ○内容やポイントを理解する。 3 試しのゲームを行う。 4 学習カードの書き方を知る。 		①		<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいや道すじを説明し，児童が見通しを持って取り組めるようにする。 ・スキルアップタイムについて説明し，チームで考えて取り組めるようにする。

第二時	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチ ○スキルアップタイム ・プレルパス ・アタックレシーブ</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレルボールのリーグ戦を楽しもう</p> <p>3 ゲームを行う。(ボール 2号) ○1試合目 (ネット 80 cm) ○2試合目 (ネット 50 cm)</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○今日のゲームを振り返る。</p>	① ・ ③		<ul style="list-style-type: none"> ・練習の目的を意識して取り組むように声をかけ、グループに入って助言する。 ・相手とコートを確認する。 ・ルールやマナーを守って意欲的にプレーしているチームを称賛する。 ・プレーのコツやうまくいったところをチーム内で共有させる。 ・使ったボールやネットの高さがチームに合っていたか確認する。
第三時	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチ ○スキルアップタイム ・プレルパス ・3段プレル</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレルボールのリーグ戦を楽しもう</p> <p>3 ゲームを行う。(ボール 0号) ○1試合目 (ネット 80 cm) ○2試合目 (ネット 50 cm)</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○今日のゲームを振り返る。</p>		①	<ul style="list-style-type: none"> ・指先や手首足首など、けがをしやすい部分を念入りに伸ばすよう声をかける。 ・自分のめあてを意識させ、モチベーションを上げる。 ・動き方が分からない児童には、助言する。 ・プレーのコツをチーム内で共有させる。 ・使ったボールやネットの高さがチームに合っていたか確認する。 ・数名の児童に感想を発表させ、次時への意欲を高める。
第四時	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチ ○スキルアップタイム ・プレルパス ・アタックレシーブ</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">プレルボールのリーグ戦を楽しもう</p> <p>3 ゲームを行う。(ボール 2号) ○1試合目 (ネット 80 cm) ○2試合目 (ネット 50 cm)</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○今日のゲームを振り返る。</p>		①	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の目的を意識して取り組めないチームに、適切な指導助言をおこなう。 ・楽しんでプレーするよう声をかける。 ・うまくいかないチームに技術的なアドバイスをする。 ・チーム内で励まし合っているチームを称賛する。 ・数名の児童に感想を発表させ、リーグ戦を楽しめたかどうか振り返らせる。 ・次時からの対抗戦について説明し、見通しを持たせる。

<p>第五時</p>	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチとスキルアップタイム</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>簡単な作戦を立ててプレルボールの対抗戦を楽しもう</p> </div> <p>3 ゲームを行う。 ○1試合目 ※作戦タイム（5分） ○2試合目</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○学習カードに感想を記入する。</p>	<p>②</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・チームのめあてに合った練習を選ぶようにさせる。 ・チームのめあてを確認し、チームのために自分が頑張ることを確認する。 ・チームに入り、勝つための作戦や試合に臨む気持ちについて助言する。 ・チームとしてうまくいった作戦を取り上げ、次時に生かせるようにする。
<p>第六時（本時）</p>	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチとスキルアップタイム</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>簡単な作戦を立ててプレルボールの対抗戦を楽しもう</p> </div> <p>3 ゲームを行う。 ○1試合目 ※作戦タイム（5分） ○2試合目</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○チームで頑張った人を紹介する。</p>	<p>②</p>	<p>②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習が選べないチームには、指導助言をおこなう。 ・チームのめあてを確認し、それを達成するために自分が頑張ることを確認する。 ・チームに入り、勝つための作戦や試合に臨む気持ちについて助言する。 ・チームとしてうまくいった作戦を取り上げ、次時に生かせるようにする。
<p>第七時</p>	<p>1 学習の場作りと準備運動をする。 ○チームごとにストレッチとスキルアップタイム</p> <p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>簡単な作戦を立ててプレルボールの対抗戦を楽しもう</p> </div> <p>3 ゲームを行う。 ○1試合目 ※作戦タイム（5分） ○2試合目</p> <p>4 学習のまとめと片付けをする。 ○チームで頑張った人を紹介する。</p>		<p>②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習に真剣に取り組んでいるチームを称賛する。 ・チームのめあてを確認し、それを達成するために自分が頑張ることを確認する。 ・ゲームを楽しんでいるチームや、マナーを守って戦っているチームを称賛する。 ・数名の児童に感想を発表させ、対抗戦を楽しめたかどうか振り返らせる。

8. 本時の学習（全7時間の第6時）

(1) 日時 2018年8月29日(水) 14:00～14:45

(2) 場所 松里小学校 体育館

(3) ねらい チームに合ったルールを選んだり、簡単な作戦を立てたりしながら、プレルボールの対抗戦を楽しもう。

(4) 展開

	学習内容と活動	教師の関わり(○)と評価(△)
はじめ 10分	<p>1 学習の場づくりをして、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネット、コート、ボールなどの準備 ○チームごとにストレッチ ○スキルアップタイム プレルパス/アタック・レシーブ /3段プレル 	<p>○友達と協力し、安全に場づくりができるよう声をかける。</p> <p>○手首、足首、肩、肘、膝や指先を入念にストレッチするよう助言する。</p> <p>○チームのめあてに合った練習を選んでよいことを伝える。</p> <p>できるようになってきたら動きながら練習してごらん。</p> <p>ラリーを続けるには、体をどの方向に向けたらいいかな。</p>
なか 30分	<p>2 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>簡単な作戦を立てて、プレルボールの対抗戦を楽しもう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあての例(チーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声を出して相手チームに勝とう。 ・パスをつないで得点を取ろう。 </div> <p>3 ゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1試合目 <ul style="list-style-type: none"> ・前半(5分) ・休憩(2分) ・後半(5分) ○作戦タイム(5分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>選べるルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネットの高さ ○ボールの大きさ </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○○くんにあタックさせるにはどうすればいいかな。</p> </div>	<p>○チームのめあてを確認し、そのめあてを達成するために自分が頑張ることを見つけるよう声をかける。</p> <p>○チームのキャプテンを集め、対戦相手を決める。</p> <p>○ネットの高さとボールの大きさについては、下位のチームが選ぶように声をかける。</p> <p>○試合の中でよい動きをしていたり、仲間を励ます声かけをしていたりする児童を称賛する。</p> <p>○勝てないチームに入り、レシーブやアタックの仕方の手本を見せる。</p>

	<p><簡単な作戦の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットが高くなったから、相手のアタックをとにかく拾おう。 ・〇〇さんにアタックさせるために、みんなでパスをつなごう。 <p>○2試合目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半（5分） ・休憩（2分） ・後半（5分） <p>※2試合目も同じチームと対戦する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>選べるルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネットの高さ ○ボールの大きさ </div> <p>わたしたちのチームは、試合中にほとんど足が動いていないね。</p> <p>そうだね。次はもっと動いてコートを広く使ってみようか。</p>	<p>◇味方のパスや相手のアタックに対して、ボールの方向に体を向けたり、ボールの行き先に移動したりすることができる。</p> <p>◇チームに合ったルールを選んだり、簡単な作戦を立てたりしている。</p> <p>○負けているチームに入り、勝つための作戦や試合に臨む気持ちについて助言する。</p> 
<p>おわり 5分</p>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームごとにうまくいった作戦やうまくいかなかった作戦を共有する。 ○学習カードに感想などを記入する。 ○チームの中で頑張っていた選手を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チームとしてうまくいった作戦を取り上げ、次時に生かせるようにする。 ○チーム内だけでなく、チームの外にも目を向けている児童を称賛する。

9. 児童の実態の変化

Q1 運動することは好きですか。

	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
事前	15	4	2	0
事後	16	5	0	0

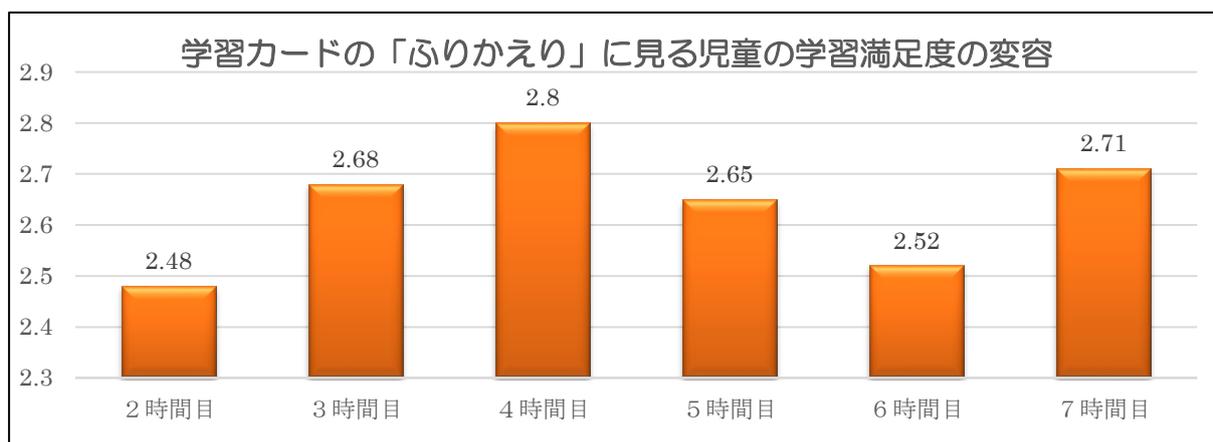
Q2 体育の学習は好きですか。

	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
事前	17	4	0	0
事後	19	2	0	0

Q3 ボール運動は好きですか。

	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
事前	19	2	0	0
事後	17	3	1	0

- ・運動することや体育の学習については、事前よりも事後の方が関心が高まった。
- ・ボール運動への関心は、授業への参加率が低かった児童の影響で、事前より下がった。



10. 授業の成果と課題

- 「学習カードの『ふりかえり』に見る児童の学習満足度の変容」を見ると、2時間目と6時間目に比較的満足度が下がったものの、どの時間にもある程度高い水準を保つことができた。
- 「3人目がボールをキャッチすることができる」というルールにしたことで、アタックが優位なゲームの様相となり、それによりレシーブの技能が高まった。
- ネットの高さやボールの大きさを選べるようにしたことで、児童のゲームに対する意欲を高め、ねらい②での思考面での成長につながった。
- 「ナイス！発見コーナー」や「作戦カード」を用いることにより、チーム内、さらには学級全体での言語活動の充実につながった。3年生という発達段階であるため、技能の向上につながったとまでは言えないが、コツやポイントをみんなで共有することはできた。
- 「ラリー」を続けることができるようにラリー選手権の時間を設けることとしたが、子どもたちの技能が2、3時間目には十分に高まっていたため、その後はゲームの時間を長く確保できるようにした。ネット型ゲームの本来の楽しさを味わうための基本的な技能を高められるような手立ては必要であるが、その内容については児童の実態や単元の計画を踏まえ十分に検討していく必要がある。
- ねらい①のリーグ戦の結果を受けて、ねらい②の対抗戦では下位のチームが自分のチームに合ったルールを選択することとした。そのため、リーグ戦で1位になったチームはルールを選択できる場面がほとんどなかった。本単元では、ルールを選択することが思考面での成長を図る大きな要素となるため、その機会をある程度均等にしていく必要があるだろう。
- 自分のチームの課題を明確にしたり、特徴を理解したりする上で、チームのプレーを客観的に見るが必要になる。4人チームの場合は、コート内の3人をローテーションするため、コートの外から見ている選手のアドバイスが重要となるが、3人チームでは常に全員がコート内にいるため、それができなかった。映像などで手軽に自分たちのプレーを確認することができるような手立てがあるとよいだろう。

11. 参考文献

- 小学校学習指導要領解説 体育編（平成20年8月）
- 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編（平成29年7月）
- 小学校体育まるわかりハンドブック